

## ≪C票（大学全体）の構成≫

教育研究目標	狙い・内容	2021年度に向けた取り組みのテーマ
1 全ての学生に対する質の保証	学生・教職員がともに学び合う風を育て、キリスト教主義教育を通して関西学院大学の卒業生にふさわしい、「世界市民」として求められる高い資質・能力(関心・意欲・態度、知識・理解、技能・表現、思考・判断)をすべての学生に保証する。	(1) 教育力の強化 ① 授業外学習時間の増加 ② 英語教育の充実 ③ 各外国語(フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語)教育の充実 (2) 新たな教育の充実・推進 ① 全学的アクティブ・ラーニング(ハンズオン・ラーニング)の推進 ② 初年次教育 (3) 質保証のための施策 ① FDの充実 ② SDの充実 ③ 学習者支援システム促進 ④ 教学IR機能の充実 ⑤ ポートフォリオシステムの開発 ⑥ 学修成果測定、把握、指標設定
2 研究支援の充実と成果の社会還元及び社会連携の強化	特色ある基礎研究を強化し、応用研究及び先端的研究を発展充実させ、その研究成果を国内外に発信するとともに社会に還元し、地域社会、国際社会、産業界・官界等との連携を強化する。	(1) 研究支援体制の充実 (2) 産学連携、技術実用化促進 (3) 社会連携推進体制の整備 (4) 研究所の活性化 (5) 研究費適正使用と公正な研究活動の確保に向けた研究環境整備
3 キャンパスのグローバル化の推進	世界各国からの優秀な留学生と本学の学生・教職員がともに集う、多文化が共生する国際性豊かなキャンパスを実現する。	(1) 国際連携・交流ネットワークの形成 ① 世界の大学・教育研究機関、国連、国際機関等との連携、交流強化 (a) 海外大学・機関との協定、学術交流、学生交流等の推進 (b) 国際機関、国際NGO等との連携強化 ② 留学生数の拡大と受入プログラム、日本語教育の強化・拡充 (a) 国際教育の全学的施策の立案と実施 (b) 日本語教育の全学的施策の立案と実施 ③ 国際教育プログラム参加者の積極的拡大 (a) 国際協力に関する実践的なプログラムの開発、提供 (2) 外国人留学生に対する修学環境整備 ① 混住型国際教育寮の拡充 ② 留学生パートナー制度の整備
4 総合的な学生支援の実現	一人ひとりの学生が誇れる何かを得ることができ、学生の個性を生かし、世界に通用する人材育成を実現すべく学生支援を強化する。	(1) 総合的な学生生活支援の拡充 ① 学生相談や発達障がい、障がいを持つ学生への総合的な支援体制の拡充・整備 (a) 学生支援相談室の面談環境の改善 (b) 学生による自傷他害などの緊急事態への対応及び多様化する発達障がいのある学生への対応 (c) 障がいを持つ学生への支援体制の拡充 ② 安全・安心で快適な学生生活を送ることができる環境の整備 (a) 総合的なキャンパス環境の整備・拡充 (b) 学生・教職員のマナーやコンプライアンス意識の向上による安全・安心で快適な環境の推進 (c) ハラスメントの防止及び解決 (2) スポーツ・文化活動等と勉学の両立をめざす支援強化 ① 課外活動の教育的価値を踏まえた指導・育成・活動環境の整備・拡充と活性化 ② ボランティア活動環境の整備と活性化 (3) 奨学金制度の拡充 (4) 個性・能力にあったキャリア教育と就職支援の充実 ① 学生の満足度向上
5 高大接続の推進	スーパーグローバル大学としての取組みの一環として、高等学校教育から大学教育への円滑な接続を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の学力3要素を的確に把握できる大学入試改革を推進する。	(1) 高大連携と入試改革の推進 ① 学力の3要素を多面的に評価する入学試験の改革 ② 高大連携を通じた円滑な進学促進
6 大学院の在り方	世界的な研究拠点形成のため、大学院教育の充実を図り、若手研究者の育成に努める。	—

	位置づけ	内容
アシスト目標	「大学・大学院の教育研究目標」の達成のため、機構・センターがそれぞれの役割にもとづいて策定した目標	① 生涯学習における大学としての役割を継続的に果たす
		② 言語教育研究センターのFD活動の推進
		③ 教職課程全体の教育・研究体制の強化およびセンター開講科目におけるカリキュラムの充実
		④ 教職課程履修者への相談体制の充実・強化
		⑤ 教育学部との連携強化
		⑥ グローバル化に対応した「教職に関する科目」の授業開講形態の見直し
		⑦ 新しい教育テクノロジーや学習形態に対応できる教員の養成
		⑧ (仮) 寄宿舍に関する事業の目標
		⑨ 全学の情報通信システムの統括管理、全体最適化を進める
		⑩ 情報システムを利用した教育研究活動の革新と維持
		⑪ 情報システムを利用した業務活動・情報サービスの革新と維持
		⑫ 安全安心な情報通信基盤(利用者認証、ネットワーク、共通システム、サービス体制など)を提供して、多様化高度化する全学の活動を支える
		⑬ 入試広報
		⑭ 就職を希望する学生が就職できる支援を行う。 ＝「実就職率」《就職者数／(卒業・修了者数－大学院進学者数)》88.0%以上
		⑮ 機能的な図書館に向けて、施設・設備を拡充する
		⑯ 学術情報の収集・発信機能を充実させ、利用者サービスの向上に向けて、利用環境を整備する

方針	2021年度の目指す姿(目標)	内容
内部質保証	関西学院の教育のさらなる質向上に資する自己点検・評価制度への進化 (1)2015年度からスタートした第三期認証評価を見据えた「自己点検・評価」の質向上プロセスの完成度を高める。 (2)「第四期認証評価を見据えた自己点検・評価制度」に向けて、国際通用性等を視野に入れ、更に質向上プロセスを改善・改革する。	① 第三期認証評価を見据えた自己点検・評価の質向上プロセスの完成
		② 質向上プロセスを支援するガイドラインの策定
		③ 第三期認証評価での高評価の獲得
		④ 学内データの体系化
		⑤ 内部質保証に関する理解促進、人材育成のための諸施策の実施
		⑥ 国際通用性のある評価制度等の調査・研究
		⑦ 総合学園にふさわしい学校評価システムの検討